

2025年度 最先端鉄鋼体験セミナー アンケート結果

【JFEスチール（株）東日本製鉄所（千葉地区）】

◆日時：2025年8月4日（月）10：00～15：30

◆参加者：学生29名

1. 本セミナーを何で知りましたか？

- ・協会ホームページ：1名
- ・大学の掲示板：22名
- ・先生の推薦：6名
- ・その他：1名（聴講中の授業内）
（大学の掲示板／先生の推薦重複回答：1名）

2. 本セミナーに参加した動機について

- ・製鉄所を一度見てみたいと思ったため。
- ・セミナーには積極的に参加しようと思った。
- ・最先端の鉄鋼技術に触れることで知見を広げ、今後の学習や進路選択に活かしたいと思い参加した。
- ・早い学年の間にセミナーの体験をしておきたかったから。
- ・3年生になる前に一度セミナーに参加したいと思っており、大学からも近かったため。
- ・以前から気になっていたJFEスチールの工場見学の募集を大学の掲示板で見かけたため。
- ・大学の講義で鉄鋼精錬について学び興味を持っていたところ、大学の案内でこのセミナーを見つけたため。
- ・講義内容に興味があったから。
- ・自分の学科の人がどのような仕事に就いているのか知りたかったから。
- ・大学で勉強している内容と関連していて興味持ったから。
- ・大学の講義で先生から案内があり、製鉄所に関する講義や見学の機会はあまり多くないため、是非この機会に参加してみようと思った。
- ・興味のある研究室の教授から案内があったから。また、お弁当と交通費の支給があったから。
- ・去年行った日本製鉄が面白くて、今年も行きたいと思ったから。
- ・鉄鋼という日本の産業を支える大きな枠組みと現場を知ること、産業発展を中心に、経済全体の考察につなげるため。
- ・先輩からの勧め。

3. 講義の感想

- ・大学で習った内容が講義の中にもあり勉強になった。
- ・これまで習ったことが実際にどう使われているのかが分かり、知識の結びつきがあった。
- ・専門的な内容を分かりやすく説明していただき、大変参考になった。
- ・実際に働いてる企業の方の話が、大学で学んだ内容と近かった。
- ・製鉄、製鋼の流れなど、とても詳しく説明していただいて分かりやすかった。
- ・今、話題になっている水素を熱源として使う取り組みについて、どのように使用するのか聞くことができて面白かった。高炉がどのような原理で動いているのかも分かって良かった。
- ・他の大学の教授の講義を受けられて、貴重な時間だった。
- ・状態図の説明が非常にわかりやすく、また講義を受けてみたいと思った。
- ・大学の講義では鉄鋼精錬について一部分しか学ばなかったが、今回の講義で新しい知識や情報が加わったことでより一層興味が沸いてきた。
- ・製鉄プロセスや鉄鋼業界のサステナビリティについて深く学ぶことができ、将来のビジョンを掘り下げることができ、とても有意義だった。
- ・JFEスチールの技術について知ることができて良かったが、JFEスチールの業種や仕事の内容についても知りたかった。
- ・製鉄所の仕組みを理解できた。また、製鉄所でもDX化を進めているという点は印象的だった。
- ・大学で機械材料学や、凝固、鑄造工学の授業を受けていたこともあり、今回の講義でさらに深く学ぶ

ことができた。また鉄が実際の製造現場でどれほど役に立っているのかや、環境に配慮するためには何が求められているのかについても知ることができ、興味深かった。

- ・思っていたよりも内容が難しくなく、勉強になった。学校で聞いたことのある内容もあり、全てではないが理解できて良かった。
- ・高校、大学の授業と関連していて、これまで分からなかった部分が今回の講義で明確になった。また、未来を見据えた目標の話聞いて、さらに興味をもった。
- ・自分がこれまで学んできたことが、どのように活用されて私たちの生活を豊かにしているのかを知ることができて、良い学びになった。
- ・既に大学で学んだ内容だったので理解しやすく、興味深かった。最後の自動車の話が面白かった。
- ・文系で材料系の知機がほとんどなかったが、非常に示唆に富んだ内容でメカニズムも分かりやすく説明していただけたため、とても勉強になった。

4. 工場見学の感想

- ・講義やスライド、黒板でしか機器を見たことがなかったので、いざ実物を目にするととても大きくて圧巻だった。
- ・普段見られない溶鉱炉や設備を間近で見学し、スケール感や迫力を実感できた。原料ヤードや船も見られて良かった。
- ・実際に中も見学したかったが、外からでも充分すごくて、楽しかった。日常の至る所に鉄が使われていて、それがこの現場から支えられていると強く実感した。
- ・知識としては理解していたことでも、実際に目で見ることで新たな学びがあり、「こんな風に動いているのか」と実感できたため、とても有意義な時間となった。
- ・ラインが止まったのは残念だったが、普段入れない工場に入っただけで十分楽しかった。次があれば連続鑄造設備を見学したい。
- ・軍手やトランシーバー等の配慮も有難いと思った。
- ・製鉄のスケールの大きさを目で体感し、鉄という材料がいかに広く産業を支えているかが分かった。
- ・高炉の大きさや工場の広さなどを体感することができたので良かった。圧延工場の見学ができず、悲しかった。
- ・実際に高炉を見ることができ、教科書で感じられない迫力を感じることができた。
- ・製鉄所のイメージはただ広い、というものだったが、実際に見学して設備の大きさや充実度に驚いた。これだけの設備を管理して鉄を作る、ということのすごさにも感銘を受けた。
- ・講義で学んだ設備を見ることで、より深く理解することができ、とても充実した時間になった。
- ・バスの中からの案内や、工場の中での案内が興味深かった。パソコンやモニターが沢山ある部屋も入ってみたい。今回見られなかったところもまた機会があれば見たい。
- ・貴重な車や、設備を見られて非常に楽しかった。また、ちょうど大きなタンカーが止まっていて非常に感心した。
- ・エリアの隅々まで、詳しい説明をしていただき、分かりやすい解説も多く非常に満足した。もう少し多く施設を見られたらさらに面白かったと思う。

5. 本セミナーは役に立ちましたか？

- ・役に立った（良かった）：29名
- ・役に立たなかった（悪かった）：0名

<理由等>

- ・授業で学んだ内容が、実際の現場でどのように活用されているのかを見ることができた。
- ・大学の講義でも同じようなことを学んだが、本セミナーにてエネルギー、リサイクル的な面からも鉄鋼について学び、非常に良い収穫ができた。
- ・業界理解が深まり、今後の進路検討に役立つ内容だった。
- ・大学の先生の講義と見学はとても有意義で見応えがあった。
- ・初めてセミナーに参加し、セミナーがどういったものなのかを知ることができた。
- ・鉄について理解が深まったため。
- ・授業だけでは聞けないようなことまで話を聞けて、自分の足で行き目で見ることができたので役に立ったと思う。
- ・どのように鉄が社会とつながっているのか、どのような管理をされているのか、というのが今回のセ

- ・ ミナーで少し知ることができた。身近に鉄を感じる良い機会だった。
- ・ 工場見学をして気になったことを質問できて、とても良かった。
- ・ 改めて自分の所属している学科に興味をもった。
- ・ 鉄鋼の工場と言っても、具体的にどのようなことをしているのか、あまり想像がつかなかったのに、実際に見ることができて良かった。
- ・ 状態図を正しく読めていることが確認できたため。
- ・ 鉄鋼材料の基礎から知ることができたので、材料系ではない自分にとって大きな知見を得られた。
- ・ 今後大学で勉強するモチベーションになった。
- ・ 大学で学ぶような技術的な話だけでなく、ビジネスとしての製鉄についても多く学ぶことができて就活の判断材料となった。
- ・ 工場の規模を知れたり、JFEスチールの最新技術を学ぶことができたから。
- ・ 講義を通じ、鉄鉱石から炭素を取り除くときなどに様々な工夫（他にも連続鋳造など）があり、印象的だった。また、DX化や水素による還元などの新技術を導入していることも印象的だったため。
- ・ 化学はほとんど勉強してこなかったかったが、簡単な図や反応式のスライドについては理解でき、面白かった。今後の研究室選びの参考になった。
- ・ 教科書で見ていた高炉や他の設備が想像していた以上に大きく、すごさを実感できた。講義で船で運ばれてからコイルになるまでの過程を説明してもらい、その後に工場見学をしたことで、とても理解が深まった。
- ・ 鉄について集中的に学ぶ機会がなかったため、新しい発見が多く楽しかった。本当は鉄鋼生産の現場や最先端の技術を自分の目で見られれば良かったが、体系的・経験的に学べたため、意義は大きかったと思う。
- ・ JFEスチールの良さを沢山知れた。質問にとても丁寧に答えていただいた。

6. 開催期間（1日間）及び時期について

<期間>

- ・ 「1日は適当」：28名
（他の用事があまりないため。一日で業界理解が深まり、適切だと思った。特に今日の内容で不足を感じなかったから。ちょうど良かったから。気軽に参加でき、1日で鉄鋼業の概要が掴めるため。講義と見学で半日ずつがちょうど良かった。等）
- ・ 「適当でない」：1名（来たくても外せない用事がある人は来れないから。等）

<時期>

※重複回答あり

- ・ 土曜日開催がよい：2名
- ・ 平日開催がよい：1名
- ・ 夏休み開催がよい：22名
（長期休みなら予定を組みやすいから。学業との両立がしやすく、多くの学生が参加しやすいと思った。夏休みしか時間がとれないから。冬休みだと、就職までの期間が少ないため、夏休みの方が良いと思った。8月上旬は課題があり忙しいため、9月の方が良いと思う。等）
- ・ 冬休み開催がよい：4名
（夏は暑すぎるかもしれないから。現在の夏の暑さでは、肌を覆う服装は快適とは言えず、冬であれば厚着をしているため、見学しやすくなると思ったため。等）

7. 交通費補助は参加の動機になりましたか？ また来年以降、後輩に参加を勧めますか？

<交通費補助>

- ・ 動機になった。（多数）
- ・ 非常に有難い。（多数）
- ・ 交通費補助は助かったが、業界理解が主な目的で参加した。
- ・ 交通費補助のおかげで参加を即決できた。
- ・ 動機になったが、大学からの交通費は自宅からの交通費の約2倍かかるため、できれば自宅からの交通費を補助してもらえると嬉しかった。

<後輩に勧めるか>

- ・ぜひ勧めたい。(多数)
- ・内容が有益だったため後輩にも勧めたい。
- ・減多になく、特別な体験だったため、とても勧めたい。
- ・鉄鋼業に少しでも興味のある後輩がいれば、ぜひ勧めたい。
- ・非常に充実した内容のセミナーだったので、ぜひ他の人にも勧めたい。
- ・鉄鋼について知る機会になるセミナーのため、大学1、2年生に参加を勧めたいと感じた。
- ・かなり充実した内容だったので、理系・工学系以外の後輩にも参加を勧めたい。

【(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所】

◆日時：2025年8月6日(水) 9:45~16:30

◆参加者：学生22名

1. 本セミナーを何で知りましたか？

- ・協会ホームページ：0名
- ・大学の掲示板：5名
- ・先生の推薦：12名
- ・その他：6名(友人の紹介：5名、教授の授業のコースニュースでの案内：1名)
(大学の掲示板/先生の推薦重複回答：1名)

2. 本セミナーに参加した動機について

- ・先生にセミナーについて教えていただいたから。(多数)
- ・友人の紹介で興味を持ったから。
- ・大学の講義でプラントの設計や仕組みについて少し学び、製鉄所に興味を持ったため。
- ・大学の講義で教授に勧められたことがきっかけで、友人と申し込んだ。
- ・製鉄所に行ってみたかったから。
- ・鉄鋼業界に興味があり、交通費が支給されるから。
- ・先生のお話を聞き、鉄鋼材料がいかんして作られるのか興味がわいたため。
- ・昨年度に非常に良い体験をさせていただいたため。
- ・金属材料に関する授業を通じて、鉄鋼に興味を持ったため。
- ・建築分野で使用される部材が環境にどのような影響を与えているのかを知りたかった。
- ・鉄鋼業の現場を実際に見てみたかった。
- ・建築材料として使用される鉄鋼の製造過程を見学し、理解を深めたいと考えたため。大学の講義で得られない学びを得たいと考えたため。
- ・将来建築に携わる仕事を目指しており、このセミナーで多くの学びが得られると考えたため。
- ・去年参加して良い経験ができたため、今年も参加したいと思った。
- ・将来、何をしたいのかを見つけるため。
- ・研究室に興味があり、担当教授の講演があると知って参加したいと思った。
- ・普段は目にする事のない製鉄所の現場を自分の目で見ることで、自身の専門分野(材料、化学工学)に対する知見を広げたいと思った。

3. 講義の感想

- ・午前の座学の講義を受け、午後に実際に工場を見たことで、より知識が深まった。
- ・大学講師と企業講師の両方の講義はとても興味深く、新しいことを多く学べた。鉄鋼についてはほとんど知識がなかったが、最初にわかりやすい説明があったため、内容を理解しやすかった。
- ・最近の鉄に関するビジネスや市場の動き、神戸製鋼所がどのようなことに取り組んでいるかを知ることができ、とても有意義だった。
- ・鉄鋼の研究や鉄についての全体像を知ることができて良かった。
- ・身の回りの鉄の多さ、鉄の資源としての有用性、資源を採取、利用する際に生じるCO₂問題などについて知ることができた。鉄の製錬方法、これからの鉄の活用方法について理解を深めることができた。
- ・普段考えたことのない環境の観点からの製鉄の話聞いて興味深かった。
- ・資源パラドックス問題というのを初めて知った。物を使用する際に発生するCO₂だけでなく、プロセ

- ス全体を考えることが大切だと感じた。高炉の話が大学授業より深く、面白かった。
- ・ 大学での講義とは違った視点から、鉄鋼材料をどのように作るか、またカーボンニュートラルにどのように貢献されているかを知ることができ、非常に面白かった。
 - ・ 普段学んでいる勉強がどのように活かされているか分かり、とても有意義だった。
 - ・ 鉄とはという基本的な部分から、製鉄所の様々な役割について学ぶことができ、鉄鋼を作るのみではなく、リサイクルや電力生産などの多様な機能を担っていることが分かった。日本における高品質の鉄鋼作りを見学したいと思うようになった。
 - ・ 大学で学んでいる建築につながる点もあったため、学びが多かった。建築は建物だけでなく、材料の生産の時点で環境に大きな影響を与えていることがわかった。
 - ・ わかりやすく鉄鋼の最新技術について理解が深まった。
 - ・ 鉄鋼の製造過程や材料のコストについての考え方を改めさせられた。
 - ・ 大学ではこんなに深いところまで学ぶことができないので面白かった。また、鉄などの資源についてより興味がわいた。
 - ・ 地球温暖化への対策がなされていることを知れたので面白かった。
 - ・ 鉄、アルミニウムなどの鉱物の製造について詳しく知ることができ非常に面白かった。
 - ・ 今まで鉄鋼業に関して全く知らなかったが、鉄鋼が我々の暮らしに深く関わっていることが分かった。他大学の方が質問されていたがレベルが高くモチベーションが上がった。

4. 工場見学の感想

- ・ 大迫力で感動した。次は他の場所（転炉や冷延）も見たい。
- ・ 1200℃を直に感じて、製鉄のスケールがいかに大きいかを体験できて良かった。
- ・ 大変満足した。敷地内のバスツアーはとても楽しく、テンションが上がった。工場内の厚板見学はとても熱かったが、とても面白く、また行きたいと思った。
- ・ 初めて、目の前で高炉を見ることができた。
- ・ 工場の生産ラインを詳細に見られとても興味深い学びになった。
- ・ 迫力がすごく、直接見ることでとても楽しかったし、何度でも見たいと思った。男のロマンが詰まっていた。
- ・ 厚板工場を含め、全体の広さ、スケールの大きさ、そして熱さに驚いた。自分が想像していたより、ダイナミックだった。
- ・ 普段は見ることはできない、工場内を見学できてとても満足だった。圧延を行う工場が特に印象的だった。案内も分かりやすく、本当に面白かった。
- ・ 座学で学んだ内容を肌で感じられて良かった。
- ・ 熱延工場の見学がとても良かった。バスでの全体を回る見学も、事前の説明で学んだ場所を全て見ることができたので良かった。とても勉強になった。
- ・ あの暑さの中、一年中働いてると考えると、普段使っているものの背景が見えてきて、より一層有難みを感じることができた。

5. 本セミナーは役に立ちましたか？

- ・ 役に立った（良かった）：22名
- ・ 役に立たなかった（悪かった）：0名

<理由等>

- ・ 鉄がより身近に感じた。材料についてさらに学びたいと思った。
- ・ 製鉄に関して、高校の化学で習ったが、実際にどのようなプラントで、どのくらいのスケールで行っているかを見ることができ、知識が深まった。教科書に写真は載っているが、想像をはるかに超えた大きさだった。
- ・ 工場で働いている方々どのような仕事をしているかを、目で見ることができたから。
- ・ 工場の今までに見たことがないくらい壮大な景観は人生観が変わりそうなくらい印象に残った。
- ・ 実際の現場を見て、勉強していることやニュースになっている温暖化などに実感がわいてきた。モチベーションにつながった。
- ・ より、鉄が好きになり、将来やりたいことが増えた。
- ・ 授業で数字として扱っていた温度（900～1200℃）を実際に感じることで、鉄鋼加工の面白さを知ることが出来たから。
- ・ 知識として知ることもちろん大事だが、やはり実際に見学することでより体系的に学ぶことができ

たから。

- ・学んだ内容が社会に役立つイメージがわいて良かった。
- ・日常では触れない、非日常が体験でき、現場の実状が良く理解できたため。
- ・自身の進路を考える良いきっかけとなった。
- ・実際の工場を見学することは滅多にない体験なので、とても勉強になった。また別の機会があったら参加をしてみたい。製鉄所の役割についても知ることができた。
- ・建築を学ぶ上で当たり前のように使用されている鉄鋼がどのような形で生み出され、世の中に影響を与えられているかを知ることができた。
- ・教科書だけでは分からないリアルな現場の雰囲気を知れた。
- ・大学で学べないような知識や、実際に働いている方々の話を聞いて、将来に活かしていきたいと思った。
- ・大学では学べないことや体験できないことを経験することができた。また、私は東京に住んでいるので、関東の物流の流れは理解していたが、関西の物流についても新たに学ぶことができとても良かった。
- ・金属の製鉄についてや、神戸製鋼所がCO₂排出を減らすために行っている取り組みを知ることができ役に立った。
- ・研究室選択の際に行きたい研究室が明確に決まった。

6. 開催期間（1日間）及び時期について

<期間>

- ・「1日は適当」：21名（ちょうど良く感じたから。参加のハードルが高くなりすぎない。短期集中で良い。内容が1日でとても充実していたため。等）
- ・「適当でない」：1名（もう少し詳しく見て回りたいと思った。）

<時期>

※重複回答あり

- ・土曜日開催がよい：0名
- ・平日開催がよい：0名
- ・夏休み開催がよい：19名
（遠方からの参加のため夏休みが有難い。大学の授業に影響せずに参加できるので最も適していると感じた。等）
- ・冬休み開催がよい：9名（暑かったため。等）

7. 交通費補助は参加の動機になりましたか？ また来年以降、後輩に参加を勧めますか？

<交通費補助>

- ・動機になった。（多数）
- ・非常に有難い。（多数）
- ・東北に住んでいるためこれまで関西に来る機会がなかなかなかったが、交通費補助があったため、行ってみたいと思った。
- ・どうしても大学生にとって交通費はネックなので補助があり、参加しやすかった。
- ・東京からは遠いので交通費の補助は、動機の1つとして大きかった。

<後輩に勧めるか>

- ・ぜひ勧めたい。（多数）
- ・来年以降、研究室の後輩に勧めたいと思う。
- ・想像の何倍もいい経験になったため勧めたい。まずは実際に足を運ぶことが大切だと思った。
- ・時期にもよるが、勧めたいと思った。特に、大学1年生のうちに参加することを勧めたい。

【日本製鉄（株）九州製鉄所 八幡地区】

◆日時：2025年8月8日（金）9：30～16：30

◆参加者：学生17名

1. 本セミナーを何で知りましたか？

- ・協会ホームページ：1名
- ・大学の掲示板：9名
- ・先生の推薦：5名
- ・その他：3名（友人の紹介：2名、昨年も参加：1名）
（大学の掲示板案内/その他、昨年も参加重複回答：1名）

2. 本セミナーに参加した動機について

- ・鉄鋼についての授業を大学で受け、興味を持ったから。また、他大学の講義の内容や、実際の工場でのようなことをしているのか関心があったから。
- ・昨年参加した友人より面白かったと聞いたことと、製鉄所の見学をしてみたかったため。交通の支給があり、九州に行けるから。
- ・八幡の大規模な製鉄所を見学できるため。エネルギー利用という観点から製鉄に興味があったため。
- ・高校の頃に機械系の勉強しており、製鉄に興味があったから。
- ・自身が学んでいる分野に関連していたため。
- ・福岡県に滞在する予定があったので、せっかくならと思い参加した。
- ・昨年鹿島のセミナーに参加し、他の地区にも行ってみたいと思ったため。
- ・九州方面の製鉄所見学がしたかったから。
- ・交通費が支給されることと、製鉄に興味があったため。
- ・日本製鉄のCMをみて、気になったため。また、授業で日本製鉄のことが取り上げられていて、興味を持ち、鉄鋼について知りたいと思ったため。
- ・USスチールなど鉄鋼業について興味を持っているため。
- ・産業界への理解を深め、将来の進路選択に活かすため。
- ・製鋼プロセスを座学で学んだので、改めて実地を確認したいと思ったため。
- ・実際に工場を見学できるというのに魅力を感じたから。

3. 講義の感想

- ・楽しかった。講義の内容が1時間では足りなかった。
- ・GDPについて考えたことがなかったため、新しい視点が得られて良かった。
- ・自身の専攻と製鉄はあまりつながりがないと思っていたが、実際には製鉄と関わりがあることが分かった。
- ・鉄がなぜ今後も必要とされるのかを、複数の観点から学ぶことができたのが良かった。
- ・生命科学にも関係のある話があり、とても楽しく聞くことができた。
- ・学部での学びとは異なる視点から、社会全体のことも含めて学ぶことができて面白かった。
- ・鉄の需要や将来性について具体的に知ることができ、鉄鋼産業が世界を支えていることを実感した。また、社員教育の充実度や、海外展開の状況についても知ることができ、とても有意義な時間となった。
- ・大学では理論的な話が多かったので、工業的な話を聞けて、とてもためになった。
- ・鉄鋼業界がこれから目指すこと（電炉へのシフトなど）が学べて良かった。より一層金属関連に興味を持つ講義だった。
- ・日本製鉄の現状や、全体像を理解することができた。また、採用に関する情報を知ることができたので、今後の大学生活の計画に役立てたい。
- ・興味深い内容が多く、自分の将来を考え直すきっかけになった。
- ・鉄鋼業や産業の現状についてある程度理解することができた。
- ・日本製鉄がどのような会社なのか、鉄がどのような材料なのか分かって良かった。

4. 工場見学の感想

- ・面白かった。圧延時に水をかけると、すぐに色が変わり、冷却されるのが予想以上に早かった。外に置かれているロールは黒くなっていたが、熱気を帯びていて、空冷も水冷の両方をしていると知って驚いた。工場内はとても暑く、その中で作業着を着て仕事をしている方々はすごいと思った。
- ・鉄が変化する様子を思っていた以上に近くで見れたのが良かった。工程については知識としては理解していたが、実際のスケールを目の当たりにすると、そのすごさに驚かされた。

- ・授業やイラスト、アニメーションでしか見れない工程を直に見ることができ、貴重な体験だった。
- ・想像以上に暑かったが、講義で聞いた内容が実際にはどうなっているのかわかることができ良かった。
- ・圧延の過程を真横から見れるのは、とても迫力のある体験だった。欲を言えば、巻き取りの行程も見学できたらさらに良かった。
- ・スケールの大きさに圧倒され、製鉄の技術力の高さを改めて実感した。
- ・実際に鉄を作る工程や、加熱された鉄を圧延するとき、横を通過するだけで暑さがかなり増したことを直に体験できた。
- ・圧延工場は特に迫力があつたが、どの行程も迫力があり、鉄がどのように作られているのかを実際に見ることで、工程の流れを理解することができた。夏場に働くのは大変だと思った。
- ・講義で聞いただけでは理解しきれていなかった部分も実際に目で見ることで鉄鋼製造の仕組みをより理解できたと思う。熱延工場では、とても熱気を感じた。
- ・工場で鉄鋼の原材料、製鉄原理、圧延技術などについて知ることができ充実した見学だった。
- ・どの工程でどのような設備が用いられているのか良く分かった。ただ高炉の構造は見えにくかった。

5. 本セミナーは役に立ちましたか？

- ・役に立った（良かった）：17名
- ・役に立たなかった（悪かった）：0名

<理由等>

- ・他大学の講義や企業について、工場見学を含めて学べる経験だったから。
- ・講義、工場見学も大変面白く、興味深い内容だった。通信工業を専攻する自分でも製鉄に関わることができると知れてとても良かった。お弁当がおいしかった。
- ・製鉄の重要性や将来性についての理解が深まり、より一層この業界への関心が高まった。何より、これまで以上に鉄鋼業に興味を持つようになった。
- ・普段学んでいる学問とは異なる内容のセミナーだったが、就職の幅が増えたと感じたため。
- ・実験室単位の規模でしか学ぶことのできなかった生産工程が実際に産業として行われている様子を間近かで見ることができ、理解が深まった。
- ・知識を深めることができたから。
- ・材料系の学科を専攻しており、比較的どの分野にも進めると思っていた部分があつたが、鉄鋼業は、他分野の人達が集まって、材料以外の知識が組み合わさって初めて高度な技術が成り立っていることが分かり、自分の専攻の勉強はもちろん、他分野についての知見も深めていきたいと思った。
- ・授業等で聞いたことが現場でどのように実践されているかを直接見ることができたから。
- ・鉄について、もっと興味がわいた。
- ・鉄鋼会社がどのような物を生産しているのかを講義及び工場見学で学べた。想像していたことと、現実ではかなり相違があると感じた。
- ・製鉄の工程を知ることができて良かった。普段では見れないところを見学できて、貴重な時間になった。
- ・日本製鉄が2030年に向けて取り組んでいることや、その内容について理解できた。また、大学の先生の講義のおかげでより理解を深めることができた。
- ・学業で得た知識と実際の企業でのつながりを知ることができた。
- ・鉄鋼に関して、技術面だけでなく社会的な影響の両面から理解を深める一助となった。
- ・実際に工場を見て、大学で製鉄についてさらに勉強したいという気持ちが強まった。
- ・実際に鉄がどういう感じで作られているのか自分の目で見るという体験が良かったから。

6. 開催期間（1日間）及び時期について

<期間>

- ・「1日は適当」：15名（日数が少ない方が参加するハードルが低そうだから。予定の都合が合わせやすい。1日で充実した見学だったから。工場を見て回る時間もしっかり確保されていたから。等）
- ・「適当でない」：2名（九州地区の他の工場も見学したいため。講義の時間をもっと長くにとって欲しかった。もっと詳しく工場見学をしたかった。）

<時期>

※重複回答あり

- ・土曜日開催がよい：0名
- ・平日開催がよい：1名
- ・夏休み開催がよい：14名
(遠方からでも参加しやすいため。集中して取り組むことができたため。夏休みはインターンなどの活動が活発になり、大学生が積極的に行動する時期のため。等)
- ・冬休み開催がよい：6名(暑いため。時期的は夏休みが良いが体感温度を考えると冬休みが良い。等)

7. 交通費補助は参加の動機になりましたか？ また来年以降、後輩に参加を勧めますか？

<交通費補助>

- ・動機になった。(多数)
- ・非常に有難い。(多数)
- ・遠方から参加するハードルが低くなった。全額でなくても、判断の決め手となった。
- ・遠方からも気軽に行くことができるので良いと思う。
- ・参加の動機になったが、可能であれば全額補助があると有難い。遠方からの参加者にとっては宿泊費の負担もあるため、そちらについても補助があるとより参加しやすくなると思う。
- ・自身としては、往復満額いただくことができ、昼食も支給があったので、参加のハードルがかなり下がった。

<後輩に勧めるか>

- ・ぜひ勧めたい。(多数)
- ・後輩に勧めたいし、自身もまた参加したい。
- ・研究室選びに悩んでいる人にとっては、一度参加してみることで進路の参考になると思う。
- ・実際に工場を見学したり、現場の話を書くことはとても役に立つと感じたため、ぜひ勧めたい。
- ・友人と参加することを勧めたい。
- ・この体験はなかなかできるものではないので、ぜひ後輩に勧めたいと思う。

【大同特殊鋼(株)知多工場】

◆日時：2025年9月4日(木) 9:30~16:00

◆参加者：学生19名

1. 本セミナーを何で知りましたか？

- ・協会ホームページ：1名
- ・大学の掲示板：11名
- ・先生の推薦：5名
- ・その他：2名(研究室教授のメール：1名、昨年も参加：1名)
(協会ホームページ/大学の掲示板重複回答：1名)

2. 本セミナーに参加した動機について

- ・鉄鋼業界に興味があったため。
- ・普段ものづくりについて学んでおり、ものづくりの元となる鉄について知りたいと思ったから。
- ・大学で講義を受け、学んだ内容が現場でどのように役立っているかを目で見て体験したかったため。
- ・日本の製鉄産業に興味があったから。
- ・大学の教授の紹介があった時に、興味深かったから。
- ・大学の授業で習った鉄鋼のことについてさらに知りたかったため。
- ・大学で勉強していることが社会でどのように役に立つか知りたかったから。
- ・鉄鋼材料に興味があり、実際に工場見学ができる貴重な体験だと思ったから。
- ・金属に興味があったから。
- ・地元の鉄鋼メーカーでの開催だったから。
- ・実際の工場を見学してみたかったため。
- ・大学院進学を見据え、研究活動をさらに発展させるために視野を広げたいと考え、本セミナーに参加

した。

- ・鉄鋼及び関連の製品知識を深めるとともに、メーカーの工場の雰囲気を実際に感じてみたかったため。

3. 講義の感想

- ・学校の授業では学ぶことのできない、会社のリアルな部分を知ることができ、非常に面白かった。
- ・実際の製品を用いた講義だったため、内容が分かりやすかった。
- ・大学の講義をさらに発展させた内容を学ぶことができ、大変有意義だった。
- ・基礎から鉄鋼の話聞いて興味を持てた。
- ・大学の講義では学べなかった日本の鉄鋼の現状や、大同特殊鋼が取り組んでいる CO₂ 排出削減の取り組み、商品について知ることができて良かった。
- ・大学の授業で習ったことが実際にどのように活用されているのかが知れて面白かった。
- ・大同特殊鋼で研究している内容や今後の課題について聞いて、自分が将来どのような研究者になりたいか明確になった気がした。
- ・まだ材料工学について浅知識しかないので、基礎的な部分から詳しい内容も聞いて多くの知識を吸収できた。
- ・知らなかったことがたくさん聞け、興味深く、図が分かりやすかった。
- ・鉄鋼の最先端技術やその面白さ、重要性、そして大同特殊鋼とのつながりを知ることができ、大変有意義だった。
- ・大同特殊鋼で働かれています方の話を興味深く聞けた。
- ・鉄鋼材料の概要が端的に要約されていて分かりやすかった。
- ・非常に興味深い内容で、去年のセミナーの講義とあわせてさらに理解を深めることができた。

4. 工場見学の感想

- ・普段では絶対に見れない貴重な体験ができてとても良かった。
- ・普段では見ることのできない工場現場を見ることができ、鉄鋼業界に興味があった。
- ・動画やパンフレットで見るとような光景を自分の目で見て楽しかった。
- ・学校では見れない巨大なマシンがとても良かった。
- ・日常生活の中で、何気なく使っている鉄鋼の製造方法知ることができたことに加え、普段は見ることのできない電気炉を間近で見ることができたのは、非常に良い経験だった。
- ・想像していた何倍も迫力があって面白かった。
- ・電気炉の見学は初めてだったが、アークの音なども間近で感じられる距離で見学でき、とても楽しかった。
- ・普段何気なく使っている金属材料が多くの行程を経て作られていることを実感した。
- ・とても迫力があって、肌に伝わる熱が生々しかった。
- ・電気炉の迫りに圧倒された。
- ・実際の工場の機械は想像よりも遥かに大きく興味深かった。
- ・工場見学のムービーでは感じられなかった五感をフルに使って見学することができ、大変有意義だった。
- ・製鉄所のダイナミックさと工場の熱気を体感できてとても良かった。
- ・迫力があって印象的だった。特に圧延の部分が高速で行われていたので驚いた。

5. 本セミナーは役に立ちましたか？

- ・役に立った（良かった）：19名
- ・役に立たなかった（悪かった）：0名

<理由等>

- ・自身の身体で色々なことを体感できたから。
- ・普通ではなかなかできない体験ができて良かった。
- ・講義や工場見学を通して鉄鋼について知ることができ、さらに興味を持つことができたため。
- ・自分の将来について深く考えるために役立った。
- ・工場見学を通して最新の設備を見ることができた。
- ・前半の講義では、鉄鋼業界について知れた。後半の見学では、初めて見る巨大な設備に興味を持った。

- ・就活の参考になった。
- ・午前は座学、午後は工場見学という構成だったため、どちらか一方だけよりも深い学びが得られ、有意義な時間となった。
- ・より鉄鋼業界に興味を持てたため。
- ・製鉄の仕方が非常によく理解できた。
- ・工場見学ができて良かったし、これからの進路に役立った。
- ・まだ金属について詳しくはないが、最先端の話聞くことができて勉強になった。
- ・鉄鋼会社に就職するというイメージを具体的に持つことができた。

6. 開催期間（1日間）及び時期について

<期間>

- ・「1日は適当」：19名
（気軽に参加できた。1日で十分な満足度だったため。予定を合わせやすいため。等）
- ・「適当でない」：0名

<時期>

※重複回答あり

- ・土曜日開催がよい：0名
- ・平日開催がよい：1名
- ・夏休み開催がよい：16名
（時間に余裕があり、参加しやすいため。大学の授業があると、遠方の県に行けないから。期末試験後に申込み締切だったため、ゆっくり考えて申込みすることができて良かった。8月上旬は大学があるので9月に開催があると助かる。長期休暇中の開催は遠方の学生も参加しやすく、そうした学生と交流できる良い機会となるから。等）
- ・冬休み開催がよい：4名（暑いため。複数）

7. 交通費補助は参加の動機になりましたか？ また来年以降、後輩に参加を勧めますか？

<交通費補助>

- ・動機になった。（多数）
- ・非常に有難い。（多数）
- ・会場が遠くても参加しやすく、良い経験ができた。
- ・交通費だけで、1~2万円もかかると、参加をしていなかったと思う。

<後輩に勧めるか>

- ・ぜひ勧めたい。（多数）
- ・普段はなかなか経験できないことを間近で経験できるため勧めたい。

以上